



11月12日に第42回ローターアクト地区年次大会が盛大に開催されました。ガバナーをはじめ多くのロータリアンに参加頂きありがとうございました。ローターアクト地区代表 袖山 実



## ガバナー月信 2011.12.01 Vol. 6

### CONTENTS

ガバナーメッセージ . . . . . 2	クラブ紹介 長岡ロータリークラブ . . . . . 7
ローターアクト地区大会 . . . . . 3	12月地区の予定 . . . . . 7
米山奨学委員会研修旅行 . . . . . 4	新入会員 . . . . . 8
クラブ会長会 . . . . . 5	出席報告
クラブ紹介 村上ロータリークラブ . . . . . 6	ハイライトよねやま / 文庫通信
クラブ紹介 加茂ロータリークラブ . . . . . 6	

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第2560地区2011-2012年度ガバナー：石本 隆太郎

## ガバナーメッセージ

### 12月 は 家族 月 間

### ロータリーを家族とともに楽しもう！



ガバナー 石本隆太郎

11月24日(木)から26日(土)までの3日間に亘り、大阪国際会議場をメイン会場に開催された、2011~2012年度・第40回ロータリー研究会から戻ったところ、ガバナー月信・12月号の原稿書きが待ち構えておりました。

実をいうと、12月は「家族月間」ということもあり、家内と共に大阪にいる間に書こうと考えていたのですが、それは大きな間違いでした。なぜならば、連日、朝の9時から晩の5時半まで、研修会プログラムがびっしり組まれていましたし、第一日目の晩はR I 会長ご夫妻・TRF 管理委員長ご夫妻の歓迎晩餐会、二日目も希望晩餐会と続いたものですから、原稿書きどころではなかったのです。その代わりと云ってはなんですが、R I 会長ご夫妻始め、数多くのR I 理事ご夫妻、同期ガバナーご夫妻と一堂に会して、二日間に亘って懇親の機会が持てたことは、一週間早く家族月間を体験したようなもので、大変、感謝しております。

カルヤン・パネルジー会長は、“こころの中を見つめよう 博愛を広げるために”を年度テーマに掲げられ、第一の強調事項に「家族」をあげられました。そして「家族こそが社会の礎であり、家族が崩壊すれば、社会が、全てが崩壊する。」と述べておられます。

先日、某テレビ番組が、家族を大切にすることがどうかの国別アンケート調査で、第1位がアメリカの83.0%、第2位がドミニカ共和国の75.6%、第3位がカナダで74.6%。わが日本は36.3%で30位というランキングを発表しておりました。設問の細かいことまでは分かりませんでしたが、要するに、「日本人は、家族をあまり大切にしない国民である。」ということを書いたかったらしいのです。

私自身これまで「家族」の重要性は認識しつつも、“家族は全てに優先するか”と問われれば、戸惑いのような気持ちが残ったことも事実であります。しかし、戦後、半世紀以上、直接の戦争に巻き込まれることもなく、“平和ボケ”してきた日本人であります。3月11日の東日本大震災を契機にして、意識に変化が顕れて来ているのではないかと思います。

安全な飲み水や食料、家や家族まで失い、悲嘆に暮れている人々の姿を、連日のようにテレビ等で見せられ、一方において支援に駆け付けた多くの人々の姿に感動し、涙した人も多かったと思います。

最も恵まれたグループに属するロータリアンこそ、マハトマ・ガンジーの云う「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない。」という言葉をかみしめながら、自ら「家族」の大切さを認識するとともに、周囲の人々にも、家族とともに人生を楽しむことを訴えかけてゆこうではありませんか。

## 第42回 ローターアクト地区大会

新世代奉仕委員会 ローターアクト委員長 渡部 利明(新発田RC)

国際ロータリー第 2560 地区ローターアクト第 42 回地区大会が、去る 11 月 12 日、ANAクラウンプラザホテル新潟において提唱ロータリークラブ他多くのロータリアン並びに岩手・宮城、山形、福島、群馬、神奈川西部より友好地区ローターアクトの方々、第 2560 地区 9 クラブのアクター、OB、OG など大勢の皆様にご出席を頂き開催する事が出来ました事を心より感謝申し上げます。また、今大会テーマ「一灯」を掲げ準備に当たられた大会実行委員長若杉君はじめ地区代表袖山君、新潟南RAC会長高杉君、他スタッフの皆さんには大変ご苦労様でした。素晴らしい記念式典でありました。



当日の記念式典では、新潟南ロータリークラブ会長田中様より歓迎の挨拶に始まり、新潟市長代理市民生活部長白井裕司様よりご来賓挨拶、第 2560 地区石本ガバナー様のご祝辞を頂きました。引き続き、直前地区役員への感謝状贈呈、優秀アクター・優秀クラブの表彰、地区代表ノミニー高田RAC太田君の紹介を行い式典は無事終了しました。その後、分区及び各クラブの活動報告がプロジェクターを利用し、各分区代理より分かり易く、時にはユーモアを交えながら発表されました。



記念プログラムでは、講師に省エネルギー普及指導員白井智雄様から「省エネ草の根講座－新潟でエネルギーの地産・地消をめざして－」と題したご後援を頂きました。体験型の講演会だったので、皆興味深く聞き入っていました。



祝賀会では、下越分区のローターアクト精鋭達によるAKB48(今注目を集めている若い女の子達の歌手グループ)の歌に合わせたエネルギッシュなダンスに会場はおおいに盛り上がりました。また、アクトメンバーにとっては、ガバナーやパストガバナー、他クラブロータリアンと会話が出来、とても有意義な時間を過ごせたと思います。

最後にご出席頂いた皆様にご挨拶申し上げます。提唱ロータリークラブには尚一層のご支援と会員増強のご協力を、また、来年 3 月 10 日・11 日に新潟で開催される第 24 回全国ローターアクト研修会へのご参加も併せてお願い致します。ありがとうございました。

## 米山梅吉翁をたずねて

米山奨学委員会 奨学生選考委員長 安藤 幸夫(新潟東RC)



昨年の秋、メンバーから「もっと米山梅吉さんを身近に知りたいよね」と声があがり、このたび、地区の米山奨学委員会の有志で 11/8、11/9 と米山梅吉の足跡を辿る旅に行ってみりました。

11/8、東京恵比寿 RC でメイクアップをさせて頂いた後、港区芝公園にあります【ロータリー米山記念奨学会】を訪問しました。坂下事務局長、栗原女史、大庭女史とお会いし、とりわけ栗原さんとは活発な意見交換をさせて頂いていただき貴重な時間を過ごすことができました。

11/9、今回の旅の目的であります米山梅吉記念館を訪れました。そして、その記念館を例会会場にしている長泉 RC でもメイクアップをいたしました。梅吉翁のお話を聴かせていただきながらまず最初に感じたことは想像以上に豊かな常識と高い見識の持ち主だったということ。他人の幸せを心から願っている慈愛の持ち主だったということでした。

勝海舟や福沢諭吉、夏目漱石とも交わりがあった彼は 47 才の働き盛りで「新隠居論」という考えを発表したそうです。功なり名遂げた方は自分の仕事を若い人にゆずって学校や病院などの事業に尽くしてほしいという内容が書かれていました。彼自身多くの私財を投入して緑岡小学校(青山学院初等科)を建設したり、ライ病、癌、結核の病院の助けをしたということです。今残されているお墓や記念図書館をみますとその清貧さがしのばれました。あらためて、東京 RC が米山梅吉さんの功績を偲び、「米山記念奨学会」を創設したことが分かりました。

これでまた明日からの 2560 地区の米山奨学事業にあらたな想いが加われば幸いです。

ご案内していただきました長泉 RC の皆さん、箱根湯本での宿泊に際し大変お世話になりました新潟南 RC の高橋さんには書面をかりて御礼申し上げます。



## 地区内クラブ会長会が湯田上温泉で開催されました

地区幹事 小山 楯夫(新潟RC)



去る10月29日、第4分区の湯田上温泉「越後乃お宿 わか竹」で、57クラブの会長が一堂に会してクラブ会長会が開かれました。米国シカゴで3年毎に開催される規定審議会(次回は2013年4月)に地区から提出する立法案を承認決議することと、前年度の地区財務決算報告の採択決議をする為です。

まず、渡辺敏彦 PDG(規定審議会地区代表議員)より、当地区の提出立法案\*の提案と説明がなされ、審議の結果、提案通り可決いたしました。

\* 新潟南 RC 提出立法案：ローター・アクト会員の年齢制限を、特別の事情がある場合、35歳まで引き上げる事を理事会で検討する件。

次に東山昕也 直前ガバナーより2010-11年度の事業報告、宮沢英文 地区資金委員より財務決算報告、石川勝行 地区会計監査役から監査報告がありました。数クラブから質疑・応答がありましたが、納得のできる説明が得られなかった為、石本ガバナー(議長)は採択決議をせず、決算を再度検討、後日クラブ会長にお諮りする事を提案して承諾を得ました。



また地区報告事項では、高橋康隆 地区財務委員長より東日本大震災義捐金返還に関する報告と、高橋 登クラブ奉仕委員長より、地区会員増強の現状と2012年5月に開催されるバンコク国際大会参加のお願いがありました。

この後入浴、休憩し、懇親会が賑々しく開催され、クラブ会長同士が親睦を深めました。本来、地区の管理・運営や重要案件は、理事会のない地区組織では奉仕活動や事業を立案して、クラブ代表の賛成がなければ行動できません。全クラブ会長に提案し賛同を得てから物事が動き出します。地区の活動決定には地区内クラブの意向反映が不可欠です。それには、各会長諸兄にはこれからも地区管理・運営にご協力をお願い致します。

\* 会議議事録は、各クラブにお送りしました議事録をご参照下さい。



藤田 田上あじさい RC 会長より歓迎の挨拶

## 微生物で復興支援

村上ロータリークラブ会長エレクト 加藤 治郎



東日本大震災で津波の被害にあった亙理町のイチゴ農家からEM（意味は末尾に\*）で塩害対策を試してみたいという連絡が6月上旬に

入る。震災直後から亙理町の知人にEMでの塩害や悪臭対策の支援の申し入れをしておいた。

EM活性液を散布するためのコンプレッサーやタンクを農家から借り、日程を調整しトラックと乗用車計2台で村上を出発する。現地では、イチゴ農家のビニールハウスのほとんどが津波の被害を被ったが、散布する畑の表面のヘドロは取り除いて待ってくれた。EMの乾燥を避けるため、陽の落ちる夕方を待って畑に散布する。EMは効くまで使うのが鉄則であることから、よりよい効果を期待し9月10日に2度目の散布を行う。これからも被災地のロータリークラブと連絡を取り合い再度行きたいと考えている。

\*EMとはE ffective（有用な）Microorganisms(微生物たち)の頭文字である。



## みんなで仲良く、楽しい「さわやかドライブ」

加茂ロータリークラブ会長 伊藤 哲



今年で35回目となる、一人暮らしのお年寄りを招待しての「さわやかドライブ」を、今回から、姉妹クラブの田上あじさいクラブも参加し、10月30日(日)開催しました。

当クラブの社会奉仕活動の一環として先輩達から引き継いだ、一人暮らしのお年寄りの孤独感が一時でも和らぐように、また、健康や生活状況を知ることができるようにと永年企画開催して来ました。

当クラブの主催となっていますが、矢張りここは若手と女性のサポートが必要で、今回も三条ローターアクトクラブ(斎藤智子会長)から8名の方の参加により、企画から実施・サポート等を担当していただきました。

この日参加した加茂市、田上町に住むお年寄り59名と看護師やメンバー18名、合わせて総勢77名が、午前9時に加茂山公園に集合し、マイクロバス4台に分乗して出発、二班に分かれ、長岡市与板の「兼統お船ミュージアム」・弥彦神社へそれぞれ向い、昼食会場の出雲崎町の「天領の里」で合流し、記念写真撮影を行いました。

楽しみの昼食と今年も参加できたことなどを和気藹々と

話し合い、午後からは、寺泊魚のアメ横では思い思いに買い物を楽しみました。

一人暮らしのため普段、遠出をする機会が少ない参加者が多く、離れた孫への贈り物か、両手でお土産袋姿も見られました。

当日は、天候が心配でしたが、最後まで雨が降らず、参加者全員のご協力によりトラブル・事故もなく、「来年も参加するからね」の合言葉で解散しました。

また当日撮影した記念写真を年賀状にして、参加者全員に送る予定になっています。

## 60周年・そして未来へ

長岡ロータリークラブ会長 南雲 博文



昭和26年4月27日に、日本で59番目、新潟県で2番目、東京RC、新潟RCをスポンサークラブとして発足いたしました。本年6月にはめでたく60周年を迎えることができました。

当クラブの問題も、25名でスタートし、ピークが83名(平成2年)で、現在43名に減少していることです。危機感もあって、今年度は15名増員の目標(というか夢でしようか)とし、現在目標に向かって挑戦しています。

11月15日に、長岡市内4ロータリークラブ合同夜例会を開催いたしました。東日本大震災義援金を4ロータリー合同で独自に運用し、長岡市内の大学・高専・高校に修学している学生さんで、この度の震災で実家が被災された方60名に教育支援金として一律5万円を至急決定し、合同夜例会にセレモニーとして、大学・高専・高校の各代表3名を招き、贈呈式を行いました。マスコミも注目していただき取材も行われ報道されました。各学生さんから、体験談、実家、地域の状況の発表がありましたが、本当に生の声を聞き改めて被害の大きさを痛感し、また感謝の言葉を聞き、少額ではありますが、役に立ててもらってよかったと感慨を新たにしました。できれば3年間は支援を続けたいと思っておりますので、これからも行事があるごとに募金活動をやっていくことを確かめ合いました。今回の夜例会でも、11万円集まりました。皆様のクラブで、運用にお困りのところはいつでもお受けいたします。



その後、懇親会では各クラブ精鋭によるカラオケ大会で盛り上がりましたが、長岡クラブが、チームワークよろしく「EXILE」で優勝しました。

末筆になりますが、当クラブでは2人目となります2560地区ガバナーを選出いただきました。現在鈴木ガバナーエレクトを中心に、2012年7月に向けエンジン全開になっています。今後ともご協力のほどよろしくお願いを申し上げます。

## 12月 地区の予定 ～～家族月間～～

2011年12月	地区主要行事	会場
3 (土)	米山奨学生学友会総会	ANAクラウンプラザホテル新潟
10 (土)	地区諮問委員会・鈴木ガバナーエレクト渡米壮行会	長岡グランドホテル
23 (金)	インターアクト献血呼びかけキャンペーン	上・下越地区

2011年12月	ガバナー公式訪問	分区
1 (木)	燕RC	4
5 (月)	新潟北RC	2
8 (木)	新潟西RC	2
9 (金)	新潟東RC	2

2011年12月	ガバナー公式訪問	分区
12 (月)	新潟万代RC	2
13 (火)	新潟中央RC	2
14 (水)	新潟南RC	2
20 (火)	新潟RC	2

20日の新潟RCをもちまして今年度の公式訪問が終了いたします。各RCのご協力に、一同、心より感謝いたしております。

---

## 新 入 会 員

---

**須藤 光雄**

新発田 RC

入会日:2011年11月7日

会社名:(株)足立測量設計事務所

役職:代表取締役

職業分類:測量設計

**福富 礼儀**

新発田 RC

入会日:2011年11月7日

会社名:(株)きらやか銀行新発田支店

役職:支店長

職業分類:第二地方銀行

**佐藤 正剛**

新発田城南 RC

入会日:2011年11月24日

会社名:鳥料理「鳥はし」

役職:代表

職業分類:居酒屋

**望月 大輔**

新潟 RC

入会日:2011年11月8日

会社名:農林中央金庫新潟推進室

役職:推進室長

職業分類:農林水産金融

**後藤 みき**

新潟東 RC

入会日:2011年11月18日

会社名:(株)ゴトウ

役職:取締役

職業分類:運送

**保苅 玲子**

新潟東 RC

入会日:2011年11月18日

会社名:(株)サーヴメント

役職:代表取締役社長

職業分類:ソフトウェアシステム開発業務

**牧野 繁**

新潟南 RC

入会日:2011年10月19日

会社名:牧野興業(株)

役職:代表取締役

職業分類:環境整備

**酒井 敏倫**

新潟南 RC

入会日:2011年11月2日

会社名:大成建設(株)北信越支店

役職:営業担当部長

職業分類:総合建設業

**外川 朗**

白根 RC

入会日:2011年10月13日

会社名:外川整骨院

役職:院長

職業分類:整骨院

**五十嵐 博宣**

三条 RC

入会日:2011年11月2日

会社名:(株)まる五建商

役職:常務取締役

職業分類:建設業

**川田 健一**

加茂 RC

入会日:2011年11月10日

会社名:(有)和光

役職:代表取締役

職業分類:時計・宝石販売

**伊藤 功**

見附 RC

入会日:2011年10月27日

会社名:(有)見附さく泉工業

役職:取締役

職業分類:建設工事

**平出 富士夫**

三条北 RC

入会日:2011年11月1日

会社名:昭和歌謡倶楽部 赤いハンカチ

役職:代表

職業分類:飲食店経営

**目黒 由賀利**

三条北 RC

入会日:2011年11月1日

会社名:(有)エムズグラフィック

役職:代表取締役

職業分類:グラフィックデザイン

**皆川 忠志**

田上あじさい RC

入会日:2011年11月15日

会社名:(株)皆川製作所

役職:常務取締役

職業分類:電気器具製造

**大澤 正樹**

長岡西 RC

入会日:2011年10月27日

会社名:ネットヨタ越後(株)

役職:代表取締役社長

職業分類:自動車販売

**日比野 悦久**

小千谷 RC

入会日:2011年10月27日

会社名:東京電力(株)信濃川電力所

役職:所長

職業分類:電力事業

第2560地区 2011-12年度 10月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	89.43	332	337	30	5
新発田	4	99.35	79	80	0	1
村上	4	85.71	35	35	6	0
水原	3	85.60	21	24	1	3
中条	4	90.00	35	35	2	0
新発田城南	4	93.55	44	43	6	-1
豊栄	3	83.33	21	22	4	1
新発田中央	4	94.68	46	47	3	1
中条胎内	4	85.72	28	28	4	0
村上岩船	4	86.96	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)	／	84.15	392	412	21	20
新潟	4	89.11	77	86	0	9
新潟東	4	92.93	54	55	3	1
新潟南	4	82.48	71	75	0	4
佐渡	3	62.00	14	15	0	1
新潟西	4	83.20	34	36	1	2
佐渡南	4	95.47	44	45	6	1
新潟北	4	83.27	36	38	0	2
新潟中央	4	82.96	22	22	2	0
新潟万代	4	85.90	40	40	9	0
第3分区(6クラブ)	／	75.13	148	150	6	2
新津	4	72.00	25	25	0	0
村松	3	91.67	7	8	0	1
五泉	4	78.75	22	22	2	0
白根	4	78.34	49	51	2	2
新津中央	4	75.01	35	34	1	-1
阿賀野川ライン	4	55.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	81.65	372	378	20	6
三条	3	84.57	52	53	0	1
燕	3	71.50	26	26	0	0
加茂	4	70.51	38	39	5	1
三条南	4	91.15	48	49	0	1
分水	4	92.74	32	31	2	-1
見附	4	77.00	16	18	1	2
吉田	4	85.60	37	37	3	0
三条北	4	79.04	66	68	3	2
巻	4	85.50	14	14	0	0
田上あじさい	4	80.00	5	5	1	0
三条東	4	80.56	38	38	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	10月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	87.10	297	309	27	12
長岡	4	88.89	41	43	2	2
柏崎	4	85.00	44	45	0	1
長岡東	4	86.40	68	68	6	0
柏崎東	4	96.74	43	46	2	3
栃尾	4	88.04	22	23	0	1
長岡西	4	80.37	38	43	5	5
柏崎中央	4	84.26	41	41	12	0
第6分区(6クラブ)	／	87.37	149	151	10	2
十日町	3	99.00	32	32	0	0
小千谷	4	86.18	33	37	4	4
雪国魚沼	4	76.30	22	22	2	0
十日町北	4	96.73	25	23	2	-2
津南	4	87.00	25	25	2	0
越後魚沼	4	79.00	12	12	0	0
第7分区(9クラブ)	／	79.63	319	325	20	6
高田	4	85.77	69	70	1	1
直江津	4	78.74	44	44	2	0
新井	4	60.71	33	35	2	2
糸魚川	4	70.38	36	36	0	0
妙高高原	4	100.00	6	6	0	0
高田東	4	78.38	36	37	2	1
糸魚川中央	4	72.92	36	36	0	0
頸北	4	95.30	16	16	1	0
越後春日山	4	74.44	43	45	12	2

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
10月末 会員数	2,062	人
女性会員数	134	人
純増減会員数	53	人
当月平均出席率	83.54	%



# ハイライトよねやま140

## 1 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて3.9%減、約2千万円減少の4億9,400万円となりました。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が6.0%減でしたが、10月単月だけで比較すると約400万円増加しました。

今回の米山月間には5人の方々から各100万円のご寄付をいただき、うち1人は法人としても100万円という大口寄付をいただきました。今なお、震災復興に向けて日本のロータリーが一丸となって尽力する中、米山記念奨学事業への変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。2011年度も上期が残り2カ月を切りました。引き続き当会事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 2 2012学年度奨学金申し込み状況

2012学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程、地区奨励)には、指定校475校のうち419校(昨年度:442校のうち401校)から1,449人(同:1,504人)の応募がありました。

申込者の国籍・地域別割合は、中国が64.3%(前年度比+2.1%)、韓国15.5%(+1.1%)、台湾2.7%(1.9%)、その他が17.6%(1.2%)です。課程別では、博士課程が23.5%(0.5%)、修士課程45.5%(4.1%)、学部課程29.5%(+4.4%)で、学部生の割合が年々増加傾向にあります。大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」は、5地区10校から計21人の応募がありました。上記とは別に、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には6地区12クラブから、また、2012学年度から試行がスタートした「海外応募者対象奨学金」には、海外から89件の応募がありました。

11月中旬から順次、当会事務局より各地区へ応募書類を発送します。その後、11月下旬~1月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者632人(2011年11月現在)が決定します。

## 3 タイ大洪水 — 現地の学友は今 —

日本でも報道されている通り、タイでは大洪水によって、首都バンコクを含む国土の広範囲が浸水。大量の水はバンコク中心部に向かって南下を続けており、依然予断を許さない状況です。



浸水した職場(米山学友提供)

米山記念奨学会では、タイ出身の奨学生や学友にお見舞いのメールを送り、被害状況の確認に務めました。幸い、家族を含めて無事との返信が相次いでいますが、中には自宅や勤務先が浸水して、避難している学友もいます。

バンコクの北、パトゥムタニ県の日系企業に勤める学友は、「勤務先の工場が2メートルの高さまで浸水し、現在は実家に避難しています。工場再開の目途は立っていませんが、復旧次第、できるだけ早く戻るつもりです」とのこと。また、同県では、数人の学友が教員として勤務するタマサート大学でも校舎が浸水し、学期の開始が遅れるなどの影響が出ています。

来年5月に開催されるバンコク国際大会に向けて、現地在住の約20人の学友が協力を申し出てくれていますが、こうした学友の中にも今回の洪水で被災した人がいます。

一日も早く洪水が収束し、タイの皆さんが元の生活を取り戻されることをお祈りいたします。

## 4 地区大会で米山学友が活躍！

今年も各地区大会で米山学友が活躍しています。

**第 2780 地区**（横浜・川崎以外の神奈川県）の地区大会では第二日目の 10 月 16 日、アブディン・モハメド・オマルさん（スーダン / 2005-08 / 東京国立白うめ R C）が「お金ではなかった米山奨学金」と題し、ロータリーとの出会いが「スーダン障害者教育支援の会」設立への原動力になったと、DVD による活動紹介を交えながら約 35 分間のスピーチを行いました。また、同地区大会では毎年恒例の、学友会による“お茶サービス”コーナーも賑わいをみせていました。

**第 2610 地区**（富山・石川）では、地区大会が 10 月 29 日～30 日、金沢市内で開催され、第一日目の指導者育成セミナーの特別講演に米山学友の姫軍さん（中国 / 1995-97 / 東京臨海 R C）が登壇しました。天安門事件の余波を受け、人生の歯車が大きく変貌したにもかかわらず、米山奨学生となって再び夢を持ち、弁護士として母国で活躍する姫さんの言葉に、会場は感動の渦に包まれました。炭谷亮一ガバナーも、「心が揺さぶられ涙が出ました。姫氏は大いなる勇者であり、真の愛国者であり、真の奉仕者です。中国と日本、そして中国と世界の懸け橋となり、世界平和のためにご活躍いただきたい」と、エールを送りました。なお、姫さんは 11 月 2 日、都内で開催された第 2750 地区山の手西グループの I M にも招へいされ、国際交流をテーマとしたスピーチを行いました。



上からアブディンさん、第 2780 地区学友会の皆さん、姫軍さん

## 5 第 3 回中国学友会総会が開催されました

10 月 22 日、「中日友好のために 私たちの使命」をテーマとした中国学友会総会が、北京市内の中国人民対外友好協会で開催されました。当日は学友 80 人、日本から 50 人が参加、来賓の前駐中国特命全権大使の宮本雄二氏が「アジアの未来と日中関係」と題する講演を行い、国同士の関係には民間の心と心の交流が重要である、と強く訴えました。そのほか、日本大使館の山田公使、日本国内の学友会長らが挨拶を行い、米山記念奨学事業の意義を再確認しました。全員で写真撮影の後、昼食を挟んでロータリアンと学友が交流を深め、午後は学友の案内で雍和宮を見学。昨年度より規模は小さかったものの、学友たちが日本のロータリーを忘れず、しっかりと活躍していることが実感できる総会でした。（事務局長：坂下博康）



平成23年11月25日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 新藤 信之

拝 啓

晩秋の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

## 文 庫 通 信 (291号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 最近のロータリー情報から

- ◎ 「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」 宮本四郎 2011 2p  
(米山梅吉記念館館報)
- ◎ 「親睦Fellowshipについて」 本田博己 2011 2p (ロータリーの力)
- ◎ 「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」 RI 2011 1p  
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎ 「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」 RI 2011 2p  
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎ 「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」 RI  
2011 2p (国際ロータリー・ニュース)
- ◎ 「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」 関場慶博 2011 10p  
(D.2530地区大会記録)
- ◎ 「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」 安平和彦 2011 12p  
(D.2500地区大会報告書)
- ◎ 「ロータリーの奉仕活動について」 前川昭一 2011 5p  
(D.2720地区大会記録)
- ◎ 「歴史に残る1ページ：会場監督」 RI 2011 1p  
(国際ロータリー・ニュース)

[上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

---

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: [ishimoto@rid2560niigata.jp](mailto:ishimoto@rid2560niigata.jp)

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>